臨床工学科 【基礎分野】

必修科目　選択必修科目　選択科目　（※ 複数開講科目）

★太い線は、科目間の関連を示します。

■学習・教育目標■ 幅広い分野にわたって教養を養い、生命の尊厳と人権の尊重を基盤した倫理観と、日常場面、職場、研究の場において必要となる基礎的な外国語によるコミュニケーション能力を併せ持つ人材を養成する。

科目群の学習・教育目標		1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期
人間と生活・社会の理解	心理、保健・医療の現状と未来、また大学の地域社会との共生などの学びを通じて多面的に広い視野から物事を考えられるようになる。加えて、グローバル社会に向けて日本のことを学び、深い一般教養を備える。 さらに科学的思考の基盤を培い、人間としての尊厳を倫理面、および制度・経済・文化等多角的な視点から考えることができるようになる。	心理学							
			日本国憲法						
			発達心理学						
		健康スポーツ科学							
		ことばと社会							
		保健・医療の現状と未来Ⅰ							
			保健・医療の現状と未来Ⅱ						
		社会と大学Ⅰ							
			社会と大学Ⅱ						
			社会と大学Ⅲ						
			日本語表現法						
科学的思考の基盤	物理、化学、生物学などの自然科学と情報科学に関する基礎的な内容を理解し、体系化された学問に幅広く触れる。 さらに、専攻分野を超えて、共通に必要な複合的視点から事物を理解できる能力を身につける。	医療情報科学							
		物理学							
		無機化学							
		生物有機化学							
		生物学							
		生命科学概論							
外国語	専門的な知識と技術を駆使して、課題の探求、解決する能力、並びにそれに必要な論理展開力とコミュニケーション能力（記述、表現、議論、語学力）を身につける。	英語プレゼンテーション	英語読解	保健医療英語					
				医学英語					
				英会話※	英会話※				

臨床工学科 【専門基礎分野】

必修科目　選択必修科目　選択科目

★太い線は科目間の関連を示します。　★4年次の該当科目はありません。

■学習・教育目標■ ①幅広い医学的な知識を修得するための最低限必要となる基礎医学に関連する知識を修得し、人体の成り立ちと機能を理解する能力を養う。
②臨床工学技士に必要な理工学・情報系の基礎知識を学び、科学的かつ工学的なものの見方を養うと共に、問題解決のための基本的な能力を養う。

	科目群の学習・教育目標	1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期
人体の構造および機能と医学的基礎	幅広い医学的な知識を修得するために最低限必要となる人体の構造や機能について基礎を学ぶ。さらに、これらを基本として、人体における生物学的、化学的な仕組みを理解する。	解剖学 生理学Ⅰ	生理学Ⅱ 生理学実験 生化学 医学概論			
		公衆衛生学Ⅰ				
					病理学	
						薬理学
				免疫学 チーム医療概論		
理工学的基礎	臨床工学技士に必要な理工学的基礎（数学、電気・電子工学など）を理解し、これを活用できる能力を養う。また、医療機器に関連した物理的な概念や計測理論を修得する。	数学	応用数学 統計学演習			
		基礎電気学	医用電気工学 基礎電子回路	医用電気工学実習 医用電子工学 医用機械工学	医用電子工学実習	
						医用計測工学
医療情報技術とシステム工学の基礎	情報処理やプログラミングの基礎を理解し、その技術を修得する。また、システムの成り立ちや制御技術を理解し、医療機器とコンピュータの密な連携について学ぶ。			計算機演習		
					医用情報処理工学 医用情報処理工学実習	
					システム工学	

臨床工学科 【専門分野】

必修科目　選択必修科目　選択科目　（※1 複数開講科目）

★太い線は、科目間の関連を示します。

■学習・教育目標■ ①臨床で必要とされる医学的知識と工学的知識、基礎的な業務の実施能力を養う。様々な情報の収集と解釈に関する基本的な能力を養う。社会人としての基本的な遵守事項を養う。
②チーム医療の一員として医療に当たることの重要性を理解出来る能力を養う。

	科目群の学習・教育目標	1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期
医用生体工学	医学および生体工学の基礎を学び、幅広い知識を修得する。また、臨床工学に関連するテーマを考察し、医療分野に携わる一員としてその役割を理解する。	医用工学概論	臨床工学概論	生体物性学		医用材料工学			
医用機器学及び臨床支援技術	計測、診断、治療など各種医療機器に関する原理、構造を正しく理解し、適切に操作・運用できる能力を養う。また、これらの医療機器の保守点検・管理に関する基礎的な技術も同時に修得する。			医用機器学概論	医用治療機器学 医用計測機器学	医用機器学実習Ⅰ 医用機器学実習Ⅱ 臨床支援技術学 臨床支援技術学実習			
生体機能代行技術学	臨床工学技士が取り扱う生命維持管理装置の原理、構造を正しく理解し、これらを適切に操作・運用できる能力を養う。また、各種医療機器の保守点検・管理に関する基礎的な技術も同時に修得する。				生体機能代行装置学概論	生体機能代行装置学基礎実習 呼吸関連機器学 呼吸関連機器学実習 血液浄化装置学 血液浄化装置学実習 体外循環機器学 体外循環機器学実習			
医療安全管理学	医療機器や医療システムを安全に取り扱い、適切に操作・運用するための基礎知識を修得すると共に、過去の医療事故や医療過誤を通じて、医療安全の確立に適用する能力を養う。				医用機器安全管理学Ⅰ	医用機器安全管理学Ⅱ 安全管理学実習		医療関係法規	
関連臨床医学	臨床工学技士に必要な臨床医学の基礎を修得し、高度生命維持管理装置の操作運用に必要となる専門性の高い医療知識を学習する。また、医学検査系の基礎を学び、臨床的な診断の根拠となるデータ分析能力の獲得を養成する。			臨床医学各論Ⅰ 臨床生理学検査	臨床医学各論Ⅱ	臨床医学各論Ⅲ			
臨床実習	講義・実習で学んだ知識・技術を基に、医学部付属病院を含む外部実習病院で臨床実習を行う。臨床工学技士としての高度な医療機器の操作、運用、保守管理技術を実践的な場で活用できる能力を養い、臨床工学技士として必要となる知識および技能の確認を行う。						臨床実習基礎演習 臨床実習		
衛生学	第一種衛生管理者の免許資格取得が可能となる知識と技能を修得する。	救命救助法	公衆衛生学Ⅱ		職業適性論			産業保健学 環境衛生工学 労働衛生法規Ⅰ 労働衛生法規Ⅱ	
総合領域	臨床工学技士に必要な様々な知識の修得を行い、臨床で実践的に活動し、また、指導的立場にあっても十分に実力を発揮できる考え方や判断能力を養成する。				特別講義			卒業研究	